

森林総合研究所公開講演会 『きのこを知る－微生物研究の最前線』

ポイント

- ・森林総合研究所は、秋の味覚「きのこ」をテーマにした公開講演会を開催します。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講演は森林総合研究所公式 YouTube チャンネルで配信します。

概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所は、令和2年度公開講演会「きのこを知る－微生物研究の最前線」をオンライン開催いたします。講演は公式YouTubeチャンネルにて11月2日から順次配信を開始いたします。

背景

きのこは微生物の一つであり、分解者や樹木の共生者として、森の生態系に欠かせない存在です。古くより「森の恵み」、「秋の味覚」として親しまれてきましたが、今では栽培技術の進展・普及にともない、食材として何時でも手に入れることができるようになりました。一方、マツタケやトリュフなど経済性の高いきのこについては、栽培化ができていないため栽培技術開発への期待が高まっています。さらに、きのこは様々な機能性を有するため、健康食品としても脚光を浴びています。きのこなどの微生物の様々な「働き」に注目した研究も、木質資源の有効利用を実現する上でとても重要です。

今回は、このように私たちの生活に様々な関わりをもつ「きのこ」について、最新の研究成果を中心に紹介し、今後の研究開発の取り組みを広く一般の方に向けて紹介する機会にしたいと考えています。

なお、今回の公開講演会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、YouTube等を利用したオンライン開催といたします。

内容

●招待講演

「きのこの機能性と食品としての価値」

東京農業大学地域環境科学部森林総合科学科 学科長 江口 文陽 氏

●一般講演

「きのこそして微生物－その生き様と人との関わり」

きのこ・森林微生物研究領域 領域長 服部 力

「しいたけ害虫の総合防除」

森林昆虫研究領域 昆虫生態研究室 室長 北島 博

「国産トリュフ－栽培に向けた試み」

きのこ・森林微生物研究領域 微生物生態研究室 主任研究員 小長谷 啓介

「微生物を使って木から造る－ガス燃料からプラスチック、お酒まで－」

森林資源化学研究領域 微生物工学研究室 主任研究員 大塚 祐一郎

●ポスター発表

- ・マツタケの放射線育種
- ・生シイタケに含まれるビタミンD量の調整
- ・野生きのこの放射性セシウム濃度は種によって異なる
- ・害虫の天敵寄生蜂によりシイタケを守る
- ・菌類を活用したスギ花粉飛散抑制技術ースギ花粉飛散防止剤ー
- ・林木育種センター及び森林バイオ研究センターにおける林木育種の取組
- ・私たちのくらしと水源の森林（もり）づくり
- ・これからの作業道づくりー丈夫で簡易な作業道づくりの実践ー
- ・森林にも保険があります。ー災害リスクに備えようー
- ・森林保険の災害別お支払い事例ー備えておいてよかった！ー



公開講演会 お知らせの動画タイトル

配信開始・配信方法

- ・配信開始：令和2年11月2日（月曜日）から順次配信
- ・講演動画：森林総合研究所公式YouTubeチャンネル
森林総研チャンネル <https://www.youtube.com/c/FFPRIchannel>
- ・ポスター：公開講演会特設サイト
<https://www.ffpri.affrc.go.jp/news/2020/20201007ffprilec/index.html>

お問い合わせ

森林総合研究所 企画部広報普及科広報係

Tel：029-829-8372

E-mail：kouho@ffpri.affrc.go.jp

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、筑波研究学園都市記者会に
配付しています。